

R5.1 命の週間における学校の取組について (清瀬第七小学校)

学年	主な取組	具体的な内容	・学年、教科等との関連、外部との連携等 ・成果、課題、今後の取組等
全校	校長先生の講話を聴く	「お母さんの木」の朗読を聞き、命の尊さについて考えた。	・コロナや戦争による死者数を、頻繁に耳にするのが、その一人一人の命のかけがえのない大切さについて考えさせた。
1	道徳 命があってよかった生活 じぶんのできるよ	交通事故にあってしまった子の気持ちを考える。 家族のために働くことを考える。	・安全な生活を心掛けることの大切さについて気づく。 ・自分の存在が、身近な人にとって大切だということを改めて感じられる学習になった。
2	図書 ひろしまのピカ	読み聞かせ。	道徳『生命尊重』 自分の命を大切さや生きることの強さを感じられていた。
3	学級活動 阪神淡路大震災から防災について学ぶ	映像資料を基に、大地震が起きた時にどうすれば命を守るかについて話し合う。	道徳『生命尊重』
4	学級活動 学級開き	冬休みの生活を振り返り、また教室に集えた喜びを分かち合い、今後も感染症対策をしながら、健康に気を付けて過ごそうという意識付け。 不登校の多い学年のため、安心感を与える。	道徳『節度、節制』 少しずつ学校のリズムを取り戻そうという、前向きな声かけにより、登校不安を軽減させることができた。
5	学級活動 冬休みの様子を聞きながら、安全で健康な生活について話し合う。	冬休み、安全に生活したことで3学期をむかえることができたことに気付かせ、今後も安全に気を付けて生活していくためにはどんなことに気を付けていくか考えさせた。	道徳『自由と責任について考える』
	理科 人の誕生	胎内での人の成長を調べながら、命のつながりや大切さについて学習した。	道徳『生命尊重』
6	保健・道徳 がん教育	がんの正しい知識の習得と、予防への理解。 がんの経験者との質疑応答。	保健『病気の予防』道徳『生命尊重』 ゲストティーチャー 前向きに、ポジティブに生きていこうと表現する児童が多かった。
けやきA	日常の学級活動	教室で生き物を育てる中で、声掛けを行った。	植物も生きている、大切に育てないと枯れてしまう。 優しい言葉をかけ続けると、植物は生き生きと育つ。 人間も同じで、優しい言葉をかけると、心が満たされて、生き生きと過ごすことができる。
けやきB	学級活動 ほく・わたし	自分自身について知る。	自分の苦手なこと、得意なことについて振り返り、自分自身について知るとともに、友達の良いところにも気づき、お互い尊重し合うことができた。

け や き C	国語 かえるくんはかえる くん	友達と比較して自信を無くすかえるくんが、友達の言葉で自信を取り戻す様子を読み取る。	一人一人に良さがあることに気づき、帰りの会での「日直の良いところ発表」の内容が具体的になった。
け や き D	道徳 いのちのまつり	読み聞かせ	命のつながりの数を数え、多くの命が自分とつながっていることに気付いた。命のつながりについて、話し合った。
け や き E	道徳 たまちゃん大好き	友達と分かり合うことについて	お互いの気持ちが分かった時の嬉しさについて考え、普段の生活の中で友達のことを許したり、認めたりしていることを話し合った。友達を大切にすることを大切に繋げた。
	学級活動 3学期の学級開き	友達を大切に、相手を意識して過ごすことを確認した。	安心できる教室であることを認識し、気持ちの安定に繋がった。
け や き F1	学級活動 喧嘩って何？	「喧嘩」という漢字にはなぜ「口」がついているのか考えさせる。	手や足ではないのは、けんかでも手や足を使うのではなく、「口」で気持ちを伝えないといけないからという意見を引き出した。
け や き F2	道徳 アリとアイスクリーム	NHK for school 視聴	道徳「生命尊重」 人の死、生き物の生命について考えることの大切さを知るとともに、自分の命を大切に生活しようとする態度を育てる。
ひ の き	道徳 コースチャぼうやを 救え	やけどを負った3歳の子供を治療してほしいと、国境を越えた連絡から、この命を助けようとした人々の行動について考える。	生命がかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重し大切にしようとする心情を育てる。